



【会場展示】 9:30～12:30

- ★第7回益田市景観賞
- ・景観まちづくり活動部門応募団体の活動紹介パネル展示
- ・景観絵画コンテスト部門応募作品展示
- ★景観講座活動報告パネル展
- ・益田市景観フィールドワーク講座
- ・Photo Walk Kamate～大浜地区～

第7回益田市景観シンポジウム

“益田らしさ”のある景観

日時 平成31年1月26日(土)

10:00～(開場 9:30)

会場 市民学習センター 多目的ホール

【第1部】 10:15～

第7回益田市景観賞表彰式及び講評

【第2部】 10:50～

講演 “益田らしさ”のある景観
～魅力を見つける目と意識～

講師 写真家 秋野 深 氏

【講師紹介】



秋野 深
(写真家・執筆家)



福岡県出身。海外・国内で、自然風景、建築物、人々の生活や文化を撮影。その他、写真講座講師や地方自治体の地域活性化事業への参画など多方面で活動。
インターナショナル・フォトグラフィック・アワード 2004～2008のプロフェッショナル部門にて5年連続受賞。2012年、NHK BSプレミアム『極上美の饗宴』の「シリーズ平山郁夫の挑戦(1)執念のシルクロード」にゲストナビゲーターとして出演。2014年、第7回タシケント国際フォトビエンナーレ(ウズベキスタン)にて招待作家として展示。

主催 益田市 お問い合わせ先 建設部都市整備課 景観係 TEL (0856) 31-0352

“益田らしさ”のある景観

第7回益田市景観シンポジウム 開催趣旨

益田市では、「益田らしい景観」を守り、創出し、次世代につなげていくため、益田市の景観について、市民・事業者・行政がその価値を共有することを目的に、これまで6回の景観シンポジウムを開催してきました。今回は、写真や絵画を通して、身近にある景観を再発見し、景観を楽しむことへの理解を深めるために「身近な景観を見つめ直す」をテーマにシンポジウムを開催します。



大日靈神社からの景観
(大浜地区)

【第1部】 10：15～

第7回 益田市景観賞表彰式および講評

今回で7回目を数えることとなった「益田市景観賞」は、昨年度に引き続き、景観まちづくり活動部門と景観絵画コンテスト部門の2部門での募集となりました。景観絵画コンテスト部門については、今年度は部門を細分化し、「一般・高校生部門」、「中学生部門」、「小学生部門」の3部門で募集しました。

景観まちづくり活動部門については6団体からの応募が、景観絵画コンテスト部門には、「一般・高校生部門」に29点、「中学生部門」に64点、「小学生部門」に86点の応募があり、部門ごとに、各賞が決定しています。

また、選考について、益田市景観賞選考委員会 委員長 松倉 慎治氏から、全体的な講評をいただきます。併せて、会場では、景観まちづくり活動部門に応募いただいた活動団体の活動紹介パネル展示と、景観絵画コンテスト部門に応募いただいた作品の展示をいたしますので、ご家族や関係者のみなさまをはじめ、多くの方のご来場をお待ちしております。



【第2部】 10：50～

『“益田らしさ”のある景観

～魅力を見つける目と意識～』

講師：写真家 秋野 深氏

まちの景観の魅力を発見することを目的に、写真家の秋野 深氏を講師にお迎えし、景観計画重点地区候補地域で景観講座を開催してきました。

平成27年度から平成29年度は、「景観フィールドワーク講座」として、今年度は、景観啓発講座「Photo Walk」として、カメラを持ってまちを歩きながら、秋野先生のアドバイスのもと、興味を持った景観を思い思いに撮影してきました。

今回、講師の秋野先生には、身近な景観にあらためて関心を寄せ、丁寧に観察してみることを、これまでの景観講座の活動報告を交えてお話しいただきます。

また、会場では、講座の様子をお伝えする「フィールドワーク講座だより」や「景観啓発講座だより」、講座の中で撮影された写真の展示も行います。

～景観講座実施地区～

第1回
飯浦地区



第2回
七尾地区



第3回 匹見町
澄川土井ノ原地区



第4回
高津柿本神社参道周辺地区
戸田・小浜地区



Photo Walk Kamate
～大浜地区～



【会場展示】 9：30～12：30

★第7回益田市景観賞

- ・景観まちづくり活動部門応募団体の活動紹介パネル展示
- ・景観絵画コンテスト部門応募作品展示

★景観講座活動報告パネル展

- ・益田市景観フィールドワーク講座
- ・Photo Walk Kamate～大浜地区～

ポスター及びチラシについて

本シンポジウムのポスターおよびチラシには、益田東高等学校美術部から作画の提供を受けております。同美術部では、毎年度、益田市の「今」を伝える作品を多数創出されており、これらの作品については、今後、展覧会などが予定されています。

